

第12回 次世代育成環境ランキング（2016年度）

（主要65都市、東京23区）

1. 本調査について

- 1) 内容：各種統計データなどを当NPO独自の基準で評価したもの。
- 2) 目的：次世代育成環境(出産、乳幼児保育、児童福祉、児童養護、児童保育、母子福祉、小児医療など)は自治体間に相当の格差が見られる。「市民による健全な監視役」として、各都市の環境評価を行うことで、自治体の動機付けと一般市民の意識向上に寄与する「頑張っている自治体の私設応援団」となることを目指すもの。
- 3) 調査対象：東京23区、地方自治法の定める政令指定都市と中核市の合計88都市
- 4) 今後の予定：一回(春頃)継続して作成・公表する。

2. 調査結果

1) 「次世代育成環境ランキング」2016年度

① 20政令市の上位6自治体

	総合順位	出産環境	乳幼児保育	児童福祉	児童養護	児童保育	母子父子福祉	小児医療
北九州市	1位	4位	3位	9位	5位	10位	5位	1位
京都市	2位	1位	2位	15位	10位	6位	3位	15位
熊本市	3位	10位	5位	14位	12位	17位	1位	5位
岡山市	4位	2位	15位	13位	2位	11位	18位	3位
名古屋市	5位	9位	4位	4位	7位	18位	10位	8位
相模原市	6位	18位	7位	16位	9位	5位	15位	2位

② 45中核市の上位12自治体

	総合順位	出産環境	乳幼児保育	児童福祉	児童養護	児童保育	母子父子福祉	小児医療
函館市	1位	2位	16位	3位	7位	2位	1位	6位
盛岡市	2位	6位	10位	11位	9位	1位	18位	5位
大津市	3位	18位	13位	5位	36位	20位	7位	2位
秋田市	4位	1位	1位	11位	16位	15位	12位	22位
青森市	5位	12位	2位	11位	4位	4位	15位	28位
和歌山市	6位	11位	22位	4位	2位	28位	22位	1位
鹿児島市	7位	9位	7位	11位	1位	17位	3位	29位
下関市	8位	5位	14位	1位	32位	18位	39位	14位
宮崎市	9位	17位	3位	11位	23位	6位	37位	31位

長野市	10位	16位	9位	11位	20位	5位	11位	25位
高知市	11位	13位	15位	1位	27位	9位	16位	30位
久留米市	12位	22位	12位	11位	22位	31位	5位	12位

③ 東京 23 区の上位 7 自治体

	総合 順位	出産 環境	保育 環境	児童 福祉	幼児 保育	児童 保育	小児 医療
千代田区	1位	1位	5位	23位	1位	8位	14位
文京区	2位	2位	4位	4位	2位	7位	21位
豊島区	3位	7位	7位	2位	15位	3位	12位
新宿区	4位	3位	2位	14位	10位	6位	22位
杉並区	5位	20位	16位	11位	5位	15位	1位
北区	6位	14位	8位	19位	4位	11位	9位
荒川区	7位	9位	10位	16位	11位	2位	15位

2) 東京 23 区

- ① 出産環境： 病院・診療所・歯科診療所は千代田、新宿、豊島が、医師・助産師・看護師・保健師は千代田、新宿、文京が充実。
- ② 保育環境： 保育所は葛飾、北、荒川が、待機児童は千代田、港、新宿が少ない。
- ③ 児童福祉： 児童福祉施設は墨田、豊島、目黒が充実。
- ④ 幼児保育： 幼稚園は北、千代田、文京が充実。
- ⑤ 児童保育： 学童クラブ施設は北、墨田、台東が、学童クラブ運営は荒川、文京、台東が充実。
- ⑥ 小児医療： 平日夜間診療は杉並、渋谷、江戸川が、土曜診療は渋谷、杉並、世田谷が、日祭日診療は板橋、千代田、大田、杉並が、年末年始診療は杉並、世田谷、足立が充実。予防接種実施率は板橋、墨田、葛飾が高い。

3) 主要 65 市

- ① 出産環境： 病院・診療所は北九州、長崎、函館が、分娩取扱施設は京都、函館、秋田が、分娩医師助産師は京都、秋田、前橋、高槻が多い。
- ② 乳幼児保育： 保育施設は新潟、青森、高知、鹿児島が、保育時間は川崎、盛岡、秋田が、0-2 歳児保育は新潟、熊本、高知、宮崎が、常勤保育士は新潟、高知、久留米が充実。待機児童数は川崎、相模原、新潟、名古屋、京都、北九州、函館、青森、秋田、前橋、高崎、柏、富山、金沢、長野、岐阜、豊橋、豊田、岡崎、大津、高槻、福山、下関、宮崎が少ない。
- ③ 児童福祉： 神戸、下関、高知が充実。
- ④ 児童養護： 大阪、鹿児島、和歌山が充実。
- ⑤ 児童保育： 川崎、盛岡、函館が充実。
- ⑥ 母子父子福祉： 熊本、函館、岐阜が充実。
- ⑦ 小児医療： 平日夜間診療は北九州、和歌山、盛岡が、土曜診療は北九州、枚方、大津が、日祭日診療は北九州、函館、大津が、年末年始診療は北九州、和歌山、横須賀が充実。



- 4) 特別表彰： 本調査の結果から、以下の自治体に「次世代育成優秀環境賞」を贈ることとした。
名古屋市、盛岡市、豊島区
3. 当法人について
- 1) 名称： 特定非営利活動法人(NPO)エガリテ大手前
 - 2) 設立： 2004年4月(NPO認証:2005年10月)
 - 3) 目的： 少子高齢化が急速に進む中で、男女共同参画社会の形成は、我が国の今後の発展のための最重要課題である。しかしながら、各種の法規制や制度導入は進められているものの、女性を取り巻く環境は十分なものとはいえず、いまだに男女格差・差別や前近代的な出産・育児・就労が続いているのが実態である。また、育児休暇や介護休暇の取得率、保育所の待機児数、子育てセンターの利用率などを見ても、制度やシステムの改善に加えて、その普及定着化と、女性を取り巻く社会の意識変化が求められていると言えるだろう。ところが、我が国の官庁や企業での不祥事の内部告発が後を絶たないことを見ても、組織による自浄・改善機能だけに期待することは難しく、社会の適正な監視や牽制が求められると言えるだろう。この法人では、次世代育成支援対策推進法により自治体や企業などが作成する「行動指針」「行動計画」の評価などの調査・研究を行ない、公表並びに、広報・出版、講演を行うとともに、あわせて行政や企業などへの提言を行うことで、男女共同参画社会の形成促進に寄与することを目的としている。については、この活動に、客観性、中立性、良識性、かつ非営利性が求められるため、特定非営利活動法人(NPO)とするものである。
 - 4) メンバー： 主婦やサラリーマンを中心に、弁護士、大学教授、公認会計士、医師、薬剤師、税理士、産褥ヘルパー、消費生活アドバイザー、シンクタンク研究者、社会福祉士、介護福祉士、統計専門家、アナリスト、中小企業診断士、衛生管理士、福祉サービス第三者評価調査者、フードアナリスト、宅地建物取扱主任など幅広い層からの参加を得ている。
 - 5) URL: <http://egaliteo.com/>
 - 6) 問合せ先: <http://egaliteo.com/inquiry> または furukubos@gmail.com
4. 参考資料： 調査の概要: <http://egaliteo.com/files/content/criteria2.pdf>

以上